

3 March 2025

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
23	24	25	26	27	28	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22 ハミガキ セミナー
23	24 17時 まで	25	26	27	28	29
30	31					

日曜・祝日は午前診療
トリミング 日 月 火 金 土

4 April 2025

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
30	31	1	2	3	4	5 院長 不在
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21 午前 診療	22 院長 不在	23	24	25	26
27	28	29 午前 診療	30	1	2	3

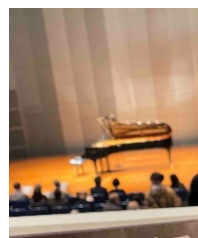
木曜
定休



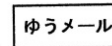
フィラリア・ノミ・マダニ
など寄生虫の院内セミ
ナーをやりました。気
温上昇と共に必要性
が増しているそうです。



ハミガキセミナー
やります。
13時から
講師 奈津子先生
予約制



ピアノの演奏会に
行きました。休みの
ための時間を作っ
たのつもりでしたが結
局時間に追われて
しまいました。



ひびき動物病院 かわらばん 2025年3月 第91号



線: 045-832-0390

こんにちは。岡田響です。

花粉症の時期になってきましたね。先日のテレビの天気予報によると、花粉が一番舞う高さは地上から500メートルくらいのところらしいです。高さの目安は、円海山153m、東京タワー333m、スカイツリー634m、こんな高さで花粉が舞っているようです。2月後半になってちょっとくしゃみや鼻水が出てくるようになってきました。私もずっと花粉症なんですけど、一番のピークはおそらく学生時代で、バイク移動がメインだったので、毎年春はヘルメットの中で鼻水だらけになっていました。獣医学部は青森で過ごしていましたが、青森では発症しませんでした。空気が違うのでしょうか。それから重症度は下がっているのですが、横浜では毎年発症します。薬を飲んでしまうと強い眠気で仕事に支障があるので、マスクとミントガムなどで凌いでいるときがあります。もしかしたら診療中にもそういう時がありますのでよろしくお願いします。

暖かくなるとまた寄生虫予防のシーズンにもなります。北海道の流氷は観測史上最も遅い漂着だったとのことで、今年は1月から暖かいので、虫たちも動きが早いかもしれません。ノミ・マダニはいつ頃から始めるのいいかな？とも思いましたが、自然が近い環境もありますので、早めに予防をはじめて、何も気にせず過ごせる方がいいのかな？とも思います。フィラリアのお薬は5月からでもいいかな。と思っています。

フィラリアの血液健康検査は今年も3月から始めます。5月までは採血料割引やお薬おまとめ割引もあります。血液検査の時は8時間以上の絶食がいいです。狂犬病のシーズンは混みやすくなりますので、早めに予約していただくのがおすすめです。

ネコさんは毛の生え変わりで毛玉トラブルや、発情のため不妊手術の相談などがちょこちょこ見られています。春だなあと思います。

イヌネコ共通事例は、何か食べちゃった、というのが少なくありません。もっと遊びたいけど遊び相手がいないから何かかじって遊んじゃおう、みたいな時も多いので、暖かくなってきたら行動範囲や行動時間を少し増やしてあげるのもいいかもしれませんよ。

*いつもと違うな？と感じたら、翌日にはご連絡ください。

ひびき動物病院 TEL045-832-0390
〒235-0045 横浜市磯子区洋光台6-2-17-102
午前9~12時 午後4~7時 受付30分前まで 予約制



ブログ

2月のバレンタインにチーズケーキを焼いたのですが、我ながらとても美味しく出来て、感激してしまいました(笑)
家に年末からある死にかけのリンゴがあったのでコンポートにして混ぜたのですが、大正解でした。バレンタインの時からお菓子作りはしないのですが、上手くできた達成感プラス、甘いもので良いストレス発散になりました。片倉

朝、1日臓物がドッキリした話...。
私は自転車通勤なのですが、ある休みの明けの朝、自転車の前カゴに入っていた午袋が、手首の方を外にして半分出ていたの、??と思いつつも手にはめたら、何やらぐにやりにしたものが指に当たりました。ひゃ〜と叫びながら午袋を外して振ってみたら、葉とエにまみれた食べものらしき物が!! 4つも!! 前カゴには半カバーをかけてるのですが、いったい誰が入れたんでしょう?! 怖いっ 石橋部
カラス? リス? ヒト??

お散歩ってどのくらい行ってますか？

ペットフード協会が色々な統計調査を実施していて、新しいのが出たよ、って教えてもらったので見てみました。「年代別散歩実態」



ちょっとこれが目に留まりました。

1213名からの調査で、20代から70代までの年代別で、「散歩の頻度」の項目と「散歩の時間」の項目があります。

まずは「散歩の頻度」ですが、1週間に何回か？という質問に対して、全体の平均値は7.15回でした。20代は5.17回、50代は7.19回、70代は8.44回と年齢が高くなると増えていますが、週に3~7回というのが一番多く、毎日2回行く方は思ったよりも少ないんですね。大変ですけど1日2回以上がおススメです。おトイレ我慢しちゃって泌尿器のトラブルになることも少なくないので、外でできる子は短い時間でいいので出さげることがいいと思います。そこで「散歩の時間」ですが、およそ半分が30分未満で、続いて30分から60分が4割程度あります。全体の平均時間は25.68分とあります。1回の散歩時間が10分とか15分とか短い時間の方もおそらく多いでしょう。年齢別の犬の散歩の平均時間は、20代が23.11分、40代が24.90分、70代が27.66分と、散歩時間についてはどの年齢層でも比較的同じ傾向のようです。

散歩の時間についての質問を受けた時には、お散歩の時間は長くないといけない、と思われている方がいらっしゃるのですが、この結果は参考になるかもしれません。

今は小型犬が多いので、1回30分以内が多いのかもしれませんが、大型犬は散歩は30分以上など、やっぱり運動量が必要、と思っておいた方が無難です。

暇だとあれこれイタズラしてしまう子もいますし、ストレスを貯めると欲求不満から咬んだり吠えたり問題行動をはじめてしまう子もいますので、大型犬や、元気のあり余ってる小型~中型犬の子も、お散歩は時間を作ってあげてくださいね。

散歩をするということはイヌには重要です。運動すること、情緒的な刺激になることなどがあり、お互いの信頼関係を確かめることは飼い主にとっても大事なこととなります。

防災対策 ~みんなどんなことしてる？~



隣のページのに引き続き、ペットフード協会の統計調査の「防災対策・意識」という調査項目から紹介します。調査項目のうち実施率15%以上のものをピックアップしてみました。

「犬 飼育者の防災対策として実施しているもの」	
リード・ハーネスの用意	38.5%
トイレ用品（ペットシーツなど）の用意	38.4%
ペットフードの備蓄	36.5%
キャリーバッグ・ケージなどの用意	32.2%
マイクロチップの装着	27.1%
水の備蓄	26.1%
かかりつけ動物病院に関する情報の把握	24.6%
首輪・迷子札の装着	18.8%
キャリーバッグに入ることを日頃から慣れさせる	18.5%
ペットの健康状態に関する情報の把握	17.6%
ペットの特徴がわかる写真を（スマホに）常に持ち歩く	16.4%

「猫 飼育者の防災体宅として実施しているもの」	
キャリーバッグ・ケージなどの用意	45.9%
ペットフードの備蓄	43.0%
トイレ用品（ペットシーツなど）の用意	39.7%
水の備蓄	27.1%
かかりつけ動物病院に関する情報の把握	26.1%
リード・ハーネスの用意	18.5%
ペットの特徴がわかる写真を（スマホに）常に持ち歩く	17.8%
キャリーバッグに入ることを日頃から慣れさせる	17.6%
ケージなどペットの避難場所の確保	16.3%
首輪・迷子札の装着	15.1%



犬と猫で行動が違いますので、差が出るのは理解できます。まずはこれらをヒントにしていいただき、何かやらなくちゃ、と思っていた人は、これはやっておこう！に、行動できると幸いです。できることからでいいですので、増えていくといいですね。

このほかの防災意識調査としての項目は、下記のものがありました。

- ・ペットと一緒に同行避難できる最寄りの避難所を知っている
- ・避難所へペットと一緒に同行避難しても、必ずしもペットとヒトが同じスペースで過ごせる（同伴避難）わけではないことを知っている
- ・被災時は最寄りの避難所へペットと一緒に避難するつもりである
- ・被災時にペットを預けられる人がいる
- ・被災費にペットと一緒に泊まれるホテルを知っている

別の雑誌には能登で被災された方のインタビューがあり、ペットを連れているときに、ニオイの出ないビニールが結構必要だった。という記事があり、新しい気づきでした。

腎臓病用のフードに切り替えるタイミング

猫はシニア期になると1/3位腎臓病になると言われています。進行性の病気なので、病気が進まないようにするのが治療になります。食事療法も強い味方になります。いつ頃変えていくのがいいのか？早めがいいと言われるけれど、初期の場合は必要なのか？そんな疑問もあったかもしれませんが、血液検査で判断できるようになってきました。外注検査なので検査当日にはすぐわかりませんが、健康食と早期腎臓病用と腎臓病用のどれがいいかなどもわかりますので、迷っている方、最近腎臓病と診断された方などにもおススメです。あまり早くからたんぱく制限してしまっても、筋肉量の減少などデメリットになる可能性もあるという報告もあります。未病対策の一環として食事や、高齢期のトイレ環境の整備など、生活に取り入れられそうなものがあれば検査と一緒に検討してほしいです。

Instagram

フードの日（日曜日）

事前注文：月~水 購入：注文後の日曜日

10%割引で買えます。LINEで注文お気軽にどうぞ



HIBIKIAHST



LINE

かわらばんやメールなど当院からのお知らせが不要な方はこちらのQRコードスキャン画面よりお知らせください。（HPトップページの下部からも解除画面に行けます）ご連絡いただきましたら速やかに停止させていただきます。

